

クイック スタート ガイド



Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS 仮想デバイス コンテキスト クイック スタート

[Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS 仮想デバイス コンテキスト クイック スタート](#) 2

[VDC の概要](#) 2

[VDC の作成および初期化](#) 2

[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#) 4

Revised: November 15, 2012,

Cisco Nexus 7000 シリーズ NX-OS 仮想デバイス コンテキスト クイック スタート

このマニュアルでは、Cisco NX-OS デバイスで仮想デバイス コンテキスト (VDC) を初めて使用する時の手順について説明します。

VDC の概要

VDC は、1 つの物理デバイスを複数の論理デバイスとして分割する機能であり、障害の切り分け、管理の分離、アドレス割り当ての分離、サービス別ドメイン、および適応型リソース管理を可能にします。VDC インスタンスは、1 つの物理デバイス内で個別に管理できます。各 VDC は、接続ユーザに対し一意のデバイスとして表示されます。VDC は、物理デバイス内で個別の論理エンティティとして実行されます。VDC は、実行中の一連のソフトウェアプロセスを独自に管理し、独自の設定を持つことができます。また、個別の管理者による管理が可能です。

Cisco NX-OS ソフトウェア を使用した VDC の活用方法については、『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Virtual Device Context Configuration Guide』を参照してください。

VDC の作成および初期化

ここでは、VDC を作成および初期化する方法について説明します。

手順

ステップ 1 network-admin ロールを持つユーザ名で、デフォルト VDC にログインします。

ステップ 2 コンフィギュレーション モードを開始し、デフォルト設定を使用して VDC を作成します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vdc MyVDC
Note: Creating VDC, one moment please ...
switch(config-vdc)#
```

ステップ 3 (任意) インターフェイスを VDC に割り当てます。

```
switch(config-vdc)# show vdc membership

vdc_id: 1 vdc_name: switch interfaces:
    Ethernet2/1           Ethernet2/2           Ethernet2/3
    Ethernet2/4           Ethernet2/5           Ethernet2/6
    Ethernet2/7           Ethernet2/8           Ethernet2/9
    Ethernet2/10          Ethernet2/11          Ethernet2/12
    Ethernet2/13          Ethernet2/14          Ethernet2/15
    Ethernet2/16          Ethernet2/17          Ethernet2/18
```

Ethernet2/19	Ethernet2/20	Ethernet2/21
Ethernet2/22	Ethernet2/23	Ethernet2/24
Ethernet2/25	Ethernet2/26	Ethernet2/27
Ethernet2/28	Ethernet2/29	Ethernet2/30
Ethernet2/31	Ethernet2/32	Ethernet2/33
Ethernet2/34	Ethernet2/35	Ethernet2/36
Ethernet2/37	Ethernet2/38	Ethernet2/39
Ethernet2/40	Ethernet2/41	Ethernet2/42
Ethernet2/43	Ethernet2/44	Ethernet2/45
Ethernet2/46	Ethernet2/47	Ethernet2/48

```
switch(config-vdc)# allocate interface ethernet 2/11-1
Moving ports will cause all config associated to them in source vdc to be removed.
Are you sure you want to move the ports? [yes] yes
```

(注) VDC にインターフェイスを割り当てると、そのインターフェイスの設定は失われます。

ステップ 4 VDC の設定を確認します。

```
switch(config-vdc)# show vdc MyVDC
```

vdc_id	vdc_name	state	mac
-----	-----	-----	-----
2	MyVDC	active	00:00:00:00:00:00

ステップ 5 新しい VDC に切り替えて、VDC 管理者ユーザ アカウントのパスワードを入力します。

```
switch(config-vdc)# switchto vdc MyVDC
```

```

---- System Admin Account Setup ----

Do you want to enforce secure password standard (yes/no) [y]: y

Enter the password for "admin":
Confirm the password for "admin":
```

ステップ 6 (任意) VDC のセットアップ スクリプトを実行します。

```
---- Basic System Configuration Dialog VDC: 2 ----

This setup utility will guide you through the basic configuration of
the system. Setup configures only enough connectivity for management
of the system.

Please register Cisco Nexus7000 Family devices promptly with your
supplier. Failure to register may affect response times for initial
Please register Cisco Nexus7000 Family devices promptly with your
service calls. Nexus7000 devices must be registered to receive
entitled support services.

Press Enter at anytime to skip a dialog. Use ctrl-c at anytime
```

to skip the remaining dialogs.

Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no):

(注) ここではセットアップスクリプトを実行せず、あとで **setup** コマンドを使用して VDC 内から実行することもできます。

ステップ7 セットアップスクリプトが終了したら、または実行を省略したら、新しい VDC を開始します。

```
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2011, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyright to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
switch-MyVDC#
```

マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, Cisco Ironport, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Nurse Connect, Cisco Stackpower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flip Video, Flip Video (Design), Flipshare (Design), Flip Ultra, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Store, and Flip Gift Card are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0907R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2008–2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>